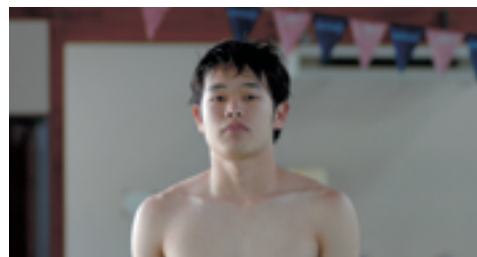


特集 この夏大活躍！ 松浦市の若きアスリートたち

この夏、市内の中・高生のスポーツでの活躍が目立ちました。

中学生は、長崎県中学校総合体育大会（県中総体）でこれまでにない多くの生徒が上位入賞を果たし、高校生は全国高等学校総合体育大会（インターハイ）出場や全国高校野球選手権大会（夏の甲子園）出場を果たすなど、その活躍には目を見張るものがありました。

今月号では、県中総体で上位入賞を果たし九州大会や全国大会出場の切符を手にした中学生、インターハイ出場や甲子園出場を果たした高校生に注目します。



◎水泳 男子 50 m自由形・男子 100m 自由形

県中総体 1 位

「県中総体での2冠達成は今までなかったのうれしいです」と喜びを語る太田君は、100m自由形56秒76の記録で九州大会出場を決め、50m自由形では全国大会参加標準記録の25秒79を上回る25秒44の記録で全国大会出場への切符を手に入れました。

保育園年長のころ、友達がやっているのを見て、自分で決めて始めたという水泳。現在は、ビートスイミング相浦プールで毎日2～3時間7～8キロ、土日はその2倍泳いでいます。

九州大会は8月7日から別府市で開催され、50m自由形、100m自由形の2種目に出場し、50m自由形で見事6位入賞を果たしました。

御厨中3年

かいり
太田 快陸 君 (星鹿・大石、15)



◎陸上競技 男子共通 400m

県中総体 2 位

福島中3年

しょうへい
森 翔平 君 (福島・福崎、15)



佐世保市総合グラウンド陸上競技場で行われた県中総体陸上競技。森君は、男子共通200mと男子共通400mに出場し、男子共通400mで52秒77の記録で2位の成績を収めました。

森君は、小学3年生のとき、母親に勧められて陸上を始め、それ以来いつも母親と一緒に練習に励んできました。現在は、国見台総合運動公園の陸上競技場などで2～3時間練習をしています。

九州大会では、惜しくも決勝進出にはなりませんでしたでしたが、県大会を上回る52秒35の記録を出し、目標である自己ベスト更新を果たしました。

森君は「単独でやっているのが不安もありますが、福島中学校の松山先生と母の指導のおかげで九州大会などに出場できるようになりました。大変感謝しています」と話していました。